データで見る中小企業の動き

# 全国中小企業動向調査（中小企業編）の結果概要

2017年４-６月期実績、７-９月期以降見通し

## 『中小企業の景況は、緩やかに回復している』

日本政策金融公庫総合研究所は7月20日、「全国中小企業動向調査結果（2017年4-6月期実績、7-9月期以降見通し）」を発表した。

### 今回調査のポイント

| | | |
|---|---|---|
| ① | 業況判断 DI | ４期連続の**上昇**。来期は**上昇**、来々期は**低下**する見通し。 |
| ② | 売　　上 DI | ３期連続の**上昇**。来期、来々期ともに**上昇**する見通し。 |
| ③ | 価格関連 DI | 販売価格DI、仕入価格DIともに３期連続の**上昇**。 |
| ④ | 純 益 率 DI | ３期連続の**上昇**。来期は**低下**、来々期は**横ばい**となる見通し。 |
| ⑤ | 従 業 員 DI | ３期連続の**上昇**。来期は**上昇**、来々期は**低下**する見通し。 |
| ⑥ | 設備投資実施企業割合 | 前期からほぼ**横ばい**となり、高水準を維持。 |

**DI（ディフュージョン・インデックス）**

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の３つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

**DATA**

- 調査時点：2017年６月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,878社
- 有効回答企業数：7,034社（回答率50.7%）

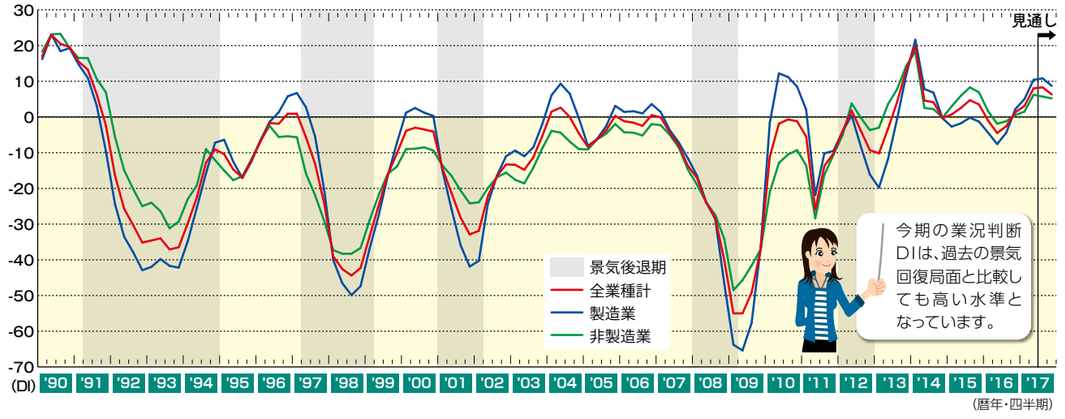
## ①-1 業況判断

**４期連続の上昇**　3.1 ▷ 8.0　UP

- 現状　業況判断DI（前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合）は、前期から4.9ポイント上昇し、8.0となった。
- 見通し　来期は上昇、来々期は低下する見通し。

### 業況判断 DI の推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



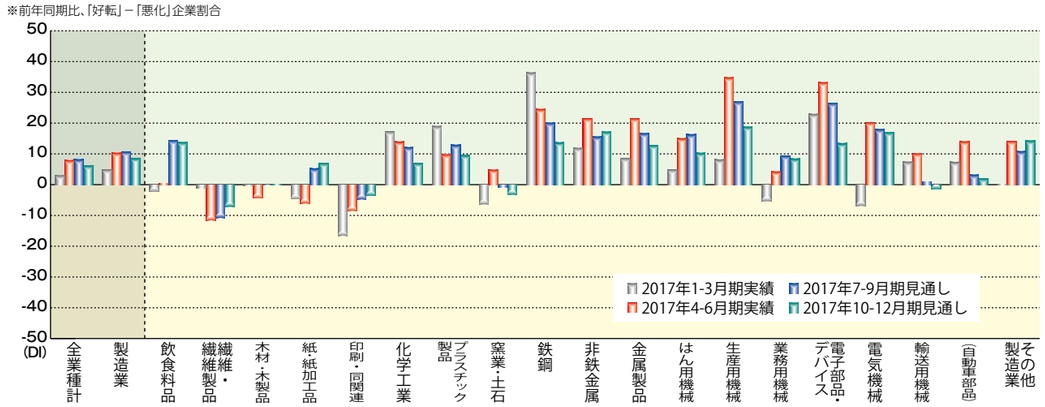



## ①-2 業種別業況判断

**製　造　業：機械関連業種が引き続き好調**
**非製造業：建設業、運送業などが改善**

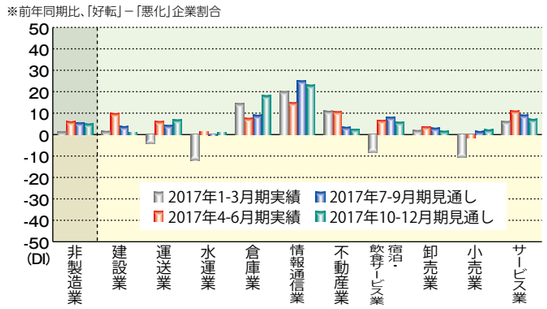
### 製造業　業種別業況判断 DI の推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合




### 非製造業 業種別業況判断DIの推移〈季節調整値〉

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合




●製造業
製造業では、はん用機械、生産用機械、電気機械、輸送用機械といった機械関連業種が上昇している。一方、仕入価格の上昇等を受け、繊維・繊維製品、紙・紙加工品、化学工業、プラスチック製品などが低下した。

●非製造業
非製造業では、前期まで低下基調にあった建設業、運送業、宿泊・飲食サービス業などが上昇している。一方、倉庫業、情報通信業等は低下した。

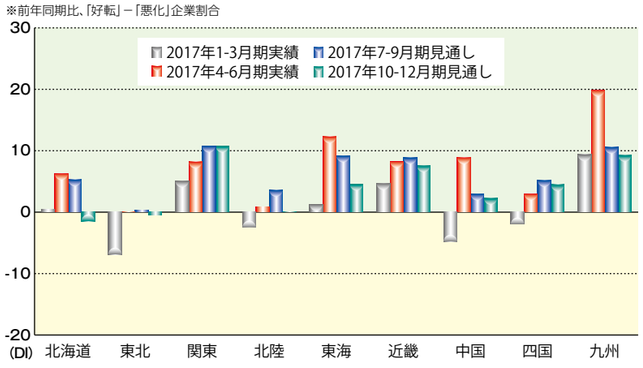
## ①-3 地域別業況判断

**全地域でプラス水準**

業況判断DI を地域別にみると、今期は９地域すべてでプラス水準となった。
来期は、東北、関東、北陸、近畿、四国の５地域でプラス幅を拡大する見通し。

### 地域別業況判断 DI の推移＜季節調整値＞

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



**全国中小企業動向調査（中小企業編）について**

当調査は、中小企業の景気動向などを把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3カ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野においてわが国を代表するビジネスサーベイの１つとして、関係各位から高い評価を得ています。

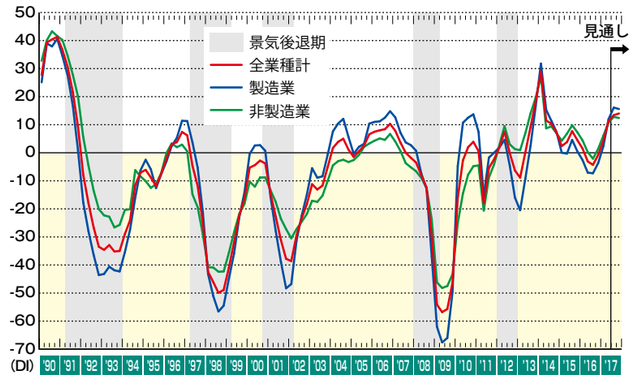
## ② 売　上

**３期連続の上昇**　4.3 ▷ 11.3　UP

売上DI（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）は前期から7.0ポイント上昇し、11.3となった。上昇は３期連続である。

来期以降も上昇が続き、プラス幅を拡大する見通し。

### 売上DIの推移＜季節調整値＞




## ③-1 販売価格

**３期連続の上昇**　0.8 ▷ 4.5　UP

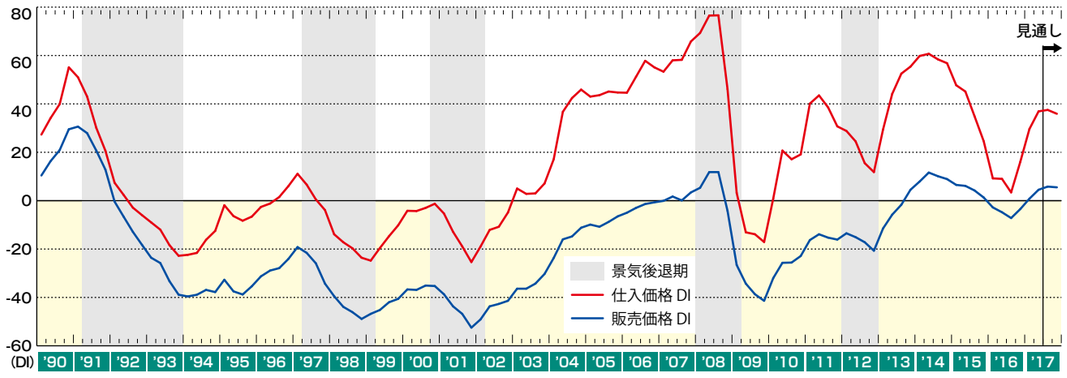
販売価格DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から3.7ポイント上昇し、4.5となった。上昇は３期連続。来期も上昇が続く見通し。

## ③-2 仕入価格

**３期連続の上昇**　29.6 ▷ 36.9　UP

仕入価格DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から7.3ポイント上昇し、36.9となった。上昇は３期連続。来期も上昇が続く見通し。

### 価格関連ＤＩの推移＜原数値＞

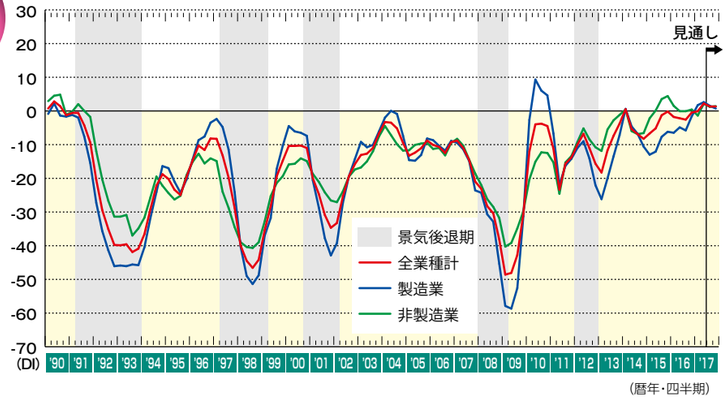



## ④ 利　益

**３期連続の上昇**　▲0.1 ▷ 2.2　UP

純益率DI（前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合）は、前期から2.3ポイント上昇し、2.2となった。来期は低下、来々期は横ばいとなる見通し。

### 純益率ＤＩの推移＜季節調整値＞

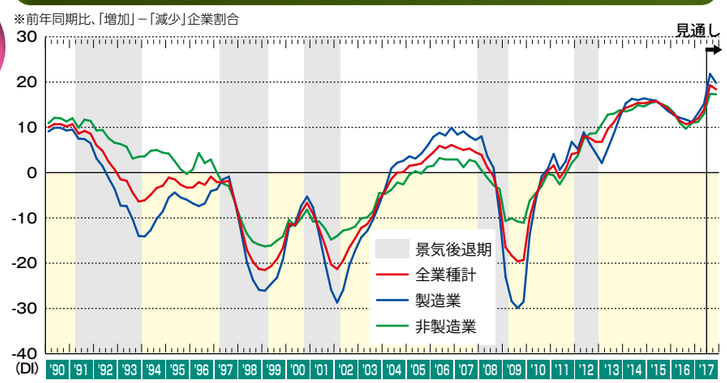



## ⑤ 雇　用

**３期連続の上昇**　12.0 ▷ 13.9　UP

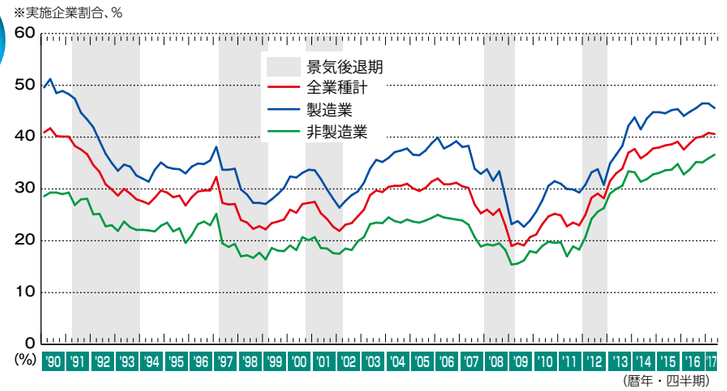
従業員DI（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）は、前期から1.9ポイント上昇し、13.9となった。上昇は３期連続。来期は上昇、来々期は低下する見通し。

### 従業員ＤＩの推移＜季節調整値＞




## ⑥ 設備投資実施企業割合

**高水準を維持**　40.8 ▷ 40.6　DOWN

設備投資実施企業割合は、前期からほぼ横ばいの40.6％となった。景況感の改善を背景として、設備投資実施企業割合は高水準を維持している。

### 設備投資実施企業割合の推移＜季節調整値＞